



平成30年度 長沢中学校 学校評価報告

平成 31年2月
学校長 吉川 和良

このたびは、学校評価アンケートにご協力いただきありがとうございました。

学校評価アンケートは、①開かれた学校づくり ②教育活動、内容の質の向上 ③学校の活性化
④教職員の資質向上を目的として、全校生徒、保護者を対象に実施しました。アンケート結果について、ここに報告させていただきます。

<評価アンケート実施対象者と回収率>

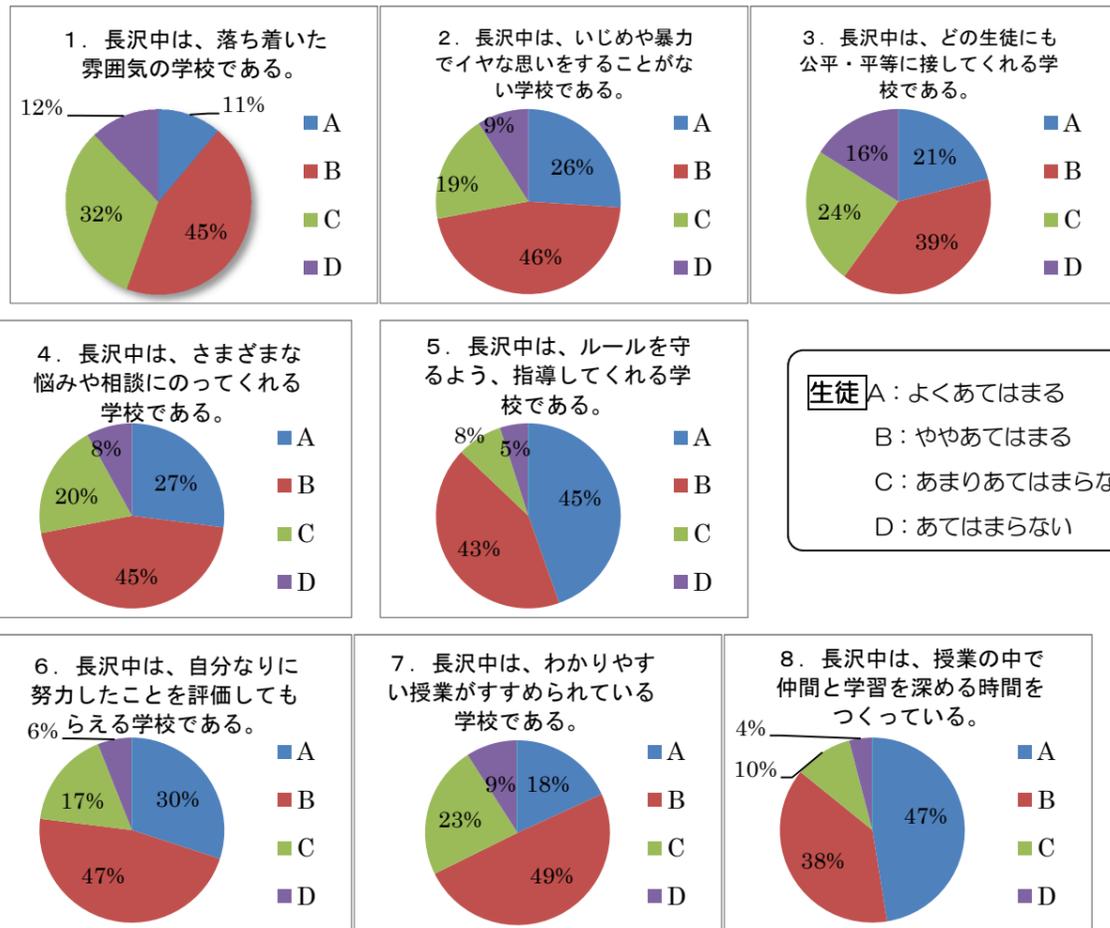
生徒による評価の回答数

1年生	127名 (在籍136名)	93.4%
2年生	134名 (在籍154名)	87.0%
3年生	135名 (在籍152名)	88.8%
5・6組	21名 (在籍21名)	100%
回答数	417名 (在籍442名)	94.3%

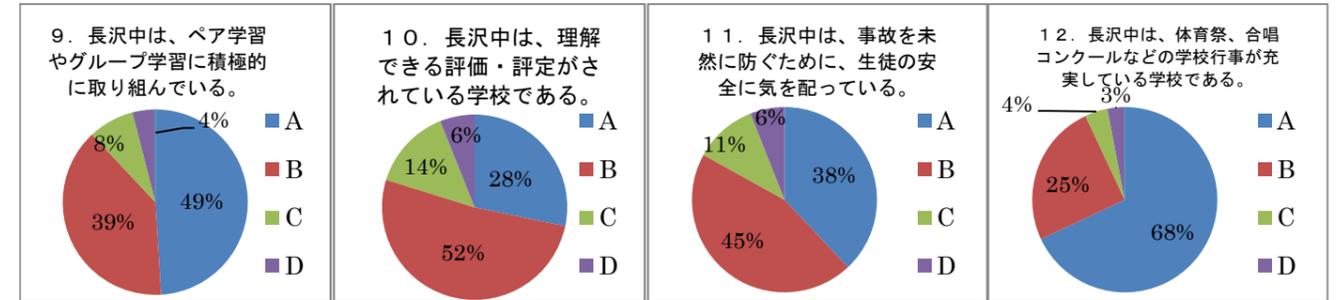
保護者による評価の回答数

1年生	110名 (在籍136名)	80.9%
2年生	112名 (在籍154名)	72.7%
3年生	93名 (在籍152名)	61.1%
5・6組	15名 (在籍21名)	71.4%
回答数	330名 (在籍442名)	74.7%

<生徒用アンケート集計結果>

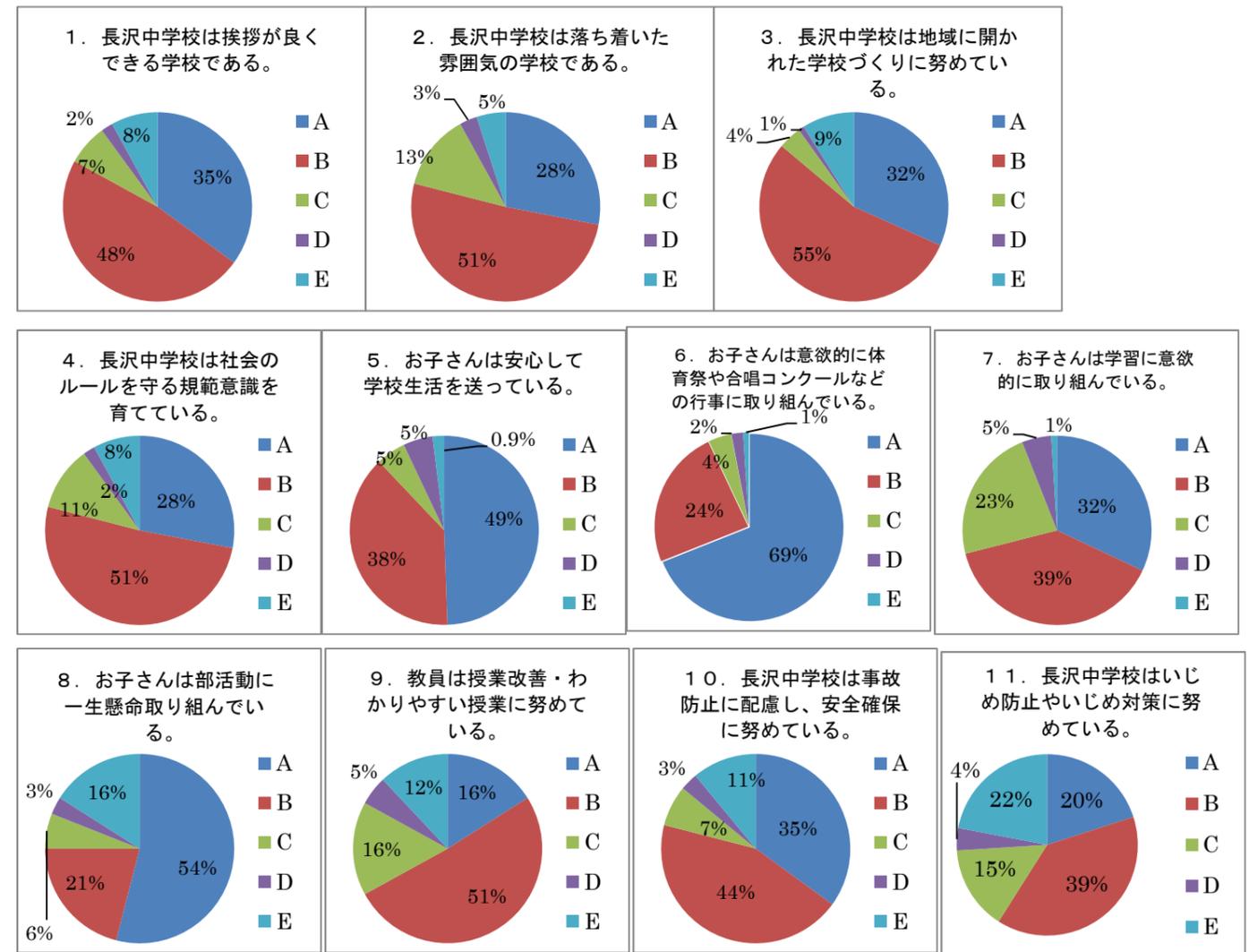


生徒 A:よくあてはまる
B:ややあてはまる
C:あまりあてはまらない
D:あてはまらない



<保護者用アンケート集計結果>

保護者 A:よくあてはまる B:ややあてはまる
C:あまりあてはまらない D:あてはまらない
E:判断できない



【学校長より】

今年度の学校評価において「生徒用質問」に以下の2点を加えました。

- 8. 長沢中は、授業の中で仲間と学習を深める時間を作っている。
- 9. 長沢中は、ペア学習やグループ学習に積極的に取り組んでいる。

新学習指導要領（H30年度より先行実施、H33年度より完全実施）の柱となっている『主体的・対話的で、深い学び』や『仲間と連携・協働しながら資質・能力を育む教育』の推進状況を計る目安として設けました。今回の結果は概ね良好でしたが、更に研修を深め、全ての生徒が意欲を持って参加できる授業づくりに取り組んでいきたいと思えます。

「落ち着いた学校」や「いじめ」に関する回答については、共に7ポイント程度昨年度を下回りました。この点については、生活面の指導に偏る対症療法ではなく、学習意欲の湧く授業や生徒の自治能力を育む生徒会・委員会・部活動の充実など、学校教育全体を通じた活動の中で改善を図りたいと考えます。

【教務】

- * 体育祭や合唱コンクール等の『学校行事』は、93%の生徒が『充実している』と答えています。また、保護者からも同様の回答を頂いています。これは、毎年90%を越えていて、多くの生徒が前向きに行事に取り組み、充実感を感じています。（→生徒アンケート12・保護者アンケート6）
- * 長沢中学校では、多くの生徒が部活動に入部し、活動に励んでいます。その様子は、『学校へ行こう週間』『部活動保護者会』等で、ご覧頂いています。（→保護者アンケート8）
- * 『開かれた学校づくり』を心がけています。授業参観を年4回（3年生は3回）実施し、保護者・地域の方々に公開しています。また、『学校へ行こう週間』では、『合唱コンクール』への各クラスの取り組みの様子等もご覧頂いています。（→保護者アンケート3）
- * 『学校行事』（授業参観・行事・PTA活動等）への保護者の参加意識は高く、毎回多くの保護者が来校されています。これからも、保護者のご理解とご協力を得て、豊かな教育を提供できるよう努力していきます。

【生活】

- * 『落ち着いた雰囲気であるか』の問いに対して、保護者は79%が肯定的な回答ですが、生徒は56%と低く、大きな差があります。外から見ている学校と、実際に生活をしている生徒との間に乖離があるようです。その理由は様々だと思えますが、この差を縮められるように、これからも教職員が一丸となって取り組んでいきます。（生徒アンケート1・保護者アンケート2）
- * 挨拶に関しては、保護者からは肯定的な回答が多いですが、学校内では大きな課題として挙がっています。校外の状況は分かりませんが、校内では確実に下降気味の傾向があるので、どんな場面でも大きな声で挨拶ができるように啓発していきます。（保護者アンケート1）
- * 『ルールに対しての指導』に関しては、保護者・生徒ともに良好な結果となりましたが、生徒アンケート『3公平・平等』では、肯定的な回答が少し減っているので、指導に対して、公平と思っていない生徒が一定数いるのかもしれませんが、今後も指導はしっかりと行いつつ、全生徒に不平等感を与えないような指導を心掛けていきます。（生徒アンケート5・保護者アンケート4）

【学習】

- * 評価・評定については、80%程度の生徒はおおむね理解し納得している評価であるものの、20%程度の生徒にとっては納得のいく評価になっていません。この結果は学習意欲の割合とほぼ同じ結果になっていることから、意欲的な学びが評価への理解にもつながるものと考えます。学びへの意欲を大切に、結果として評価への理解へとつなげていけるよう努力していきます。（生徒アンケート6、10、保護者アンケート7）
- * 今年度新たに加わった『仲間と学習を深める時間』と『ペア学習やグループ学習に積極的に取り組んでいる』については多くの生徒がその取り組みを実感していると答えています。新学習指導要領に向けて、これから求められていく力が身につくよう、さらに授業改善にとりくんでいく必要があります。それと合わせて「授業のわかりやすさ」に関する項目がさらに改善されるよう、努力していきます。（生徒アンケート7、8、9）

【支援】

- * いじめや暴力に関する質問に対する生徒の回答は前年度と変化はありませんが、『学校はいじめ防止やいじめ対策に努めている』と回答した保護者は59%で、前年度と比較すると約10%減少しています。『判断できない』と回答した22%を含めると、いじめ防止やいじめ対策への取組みを一層、強化していく必要があると考えています。（生徒アンケート2、保護者アンケート11）
- * 『さまざまな悩みにのってくれる学校である』と71%の生徒が回答しており、生徒との信頼関係を大切に、相談しやすい相手に相談できる人間関係づくりに努めた成果があらわれています。しかし、『お子さんは安心して学校生活を送っている』という項目に対し『あてはまらない』と回答した保護者が1%から5%に増加しています。この結果については、真摯に受け止め、学校が安心・安全な場所となるようまた、一人ひとりの生徒や学級全体の変化を感じ取り、迅速かつ適切な指導・支援ができるよう心掛けていきたいと考えています。（生徒アンケート4、保護者アンケート5）

【管理・運営】

- * 事故防止・安全確保については、よい評価の方が多いいえ、そうは思わない方も2ケタいます。『廊下の出会いがしらの衝突』など学校における事故防止などのために、校内を見回りや校内の過ごし方について声掛け、下校の際の横断指導などにしっかりと取り組んでいきます。また、生徒の日常の生活の様子などについても、生活指導部とも連携して目を配っていききたいと思います。（生徒アンケート11、保護者アンケート10）
- * 築後30年以上が経過し、老朽化している箇所があります。教育委員会とも相談をしながら改修をすすめていきます。